

# 科目「ビジネス基礎」 指 導 案

## 題材名「コミュニケーションスキルを高め、未来を切り拓く対話力の育成」

令和7年11月7日(金) 第3、4校時

群馬県立新田暁高等学校

第2学年(情報ビジネス系列) 指導者 六本木 勇人

### I 題材の構想

#### 1 題材観

ビジネス基礎は、商業に関する基礎的・基本的な知識と技能を習得し、経済社会の仕組みや企業活動、会計、コミュニケーションなどを理解する科目である。そして商業の見方・考え方を働かせ、ビジネスを通じて地域産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を主体的・協働的に育成することを目的としている。

現代社会において、他者と良好な人間関係を築き、協働して目標達成に向かうためには、単なる知識や一方的な伝達ではなく、状況や相手に応じて適切に「伝える」「聴く」「受け止める」といった実践的コミュニケーション力が不可欠となっている。そこで本題材では、社会で求められるコミュニケーション力の基礎を、ロールプレイ(トークトレーニング)を通して体験的に学習していく。

研究協力校のグラデュエーション・ポリシーには、「地域社会の即戦力となるために必要な知識・技術・コミュニケーション能力の育成」が掲げられており、これは学力や資格取得に加え、社会での人間関係構築や協働の力を含む「実践力」を重視していることを意味している。

このようなことを踏まえて本題材では「社会生活において他者と良好な関係を築き、共に目標達成に向けて行動できる力」の育成をねらいとした。特に重視したのは「コミュニケーションスキル」の育成である。

また、キャリア教育との関連を踏まえて、文部科学省発行『高等学校キャリア教育の手引き』では、キャリア教育で育成すべき四つの能力の一つとして「人間関係形成・社会形成能力」を掲げており、他者と協働し社会に参画する力が求められている。コミュニケーションの重要性を学習することで、相手の話を傾聴し、共感を通じて相手の気持ちに寄り添うことの意義を理解し、さらに自分の考えや意図を分かりやすく伝える実践力を身に付け、学校内外でよりよい人間関係を築く基礎を養うことを目指している。将来、どのような職業に就いたとしても、社会の一員として協働し、自らの役割を果たすための土台となる資質・能力の育成をねらいとしていきたい。

#### 2 研究との関わり

研修先である株式会社ヤマダホールディングスは、グループ会社が展開する「デンキ」「住建」「金融」「環境」「その他」の各セグメントが相互に連携しながら、お客様の「住」を中心とした多様なサービスの提供を目指している企業である。「くらしまるごと戦略」を掲げ、社員一人一人が企業価値の向上に向けて取り組むことで、社会に貢献することを企業理念としている。

同社では、入社後に基礎研修を実施したのち、3ヶ月間のOJT研修を通じて、7月以降にはプロの販売員として現場での実践ができるよう育成を行っている。さらに、研修終了後も先輩社員によるフォロー体制が整っており、継続的な指導の中で、社員一人一人のキャリアアップが図られている。

4月から人事総務本部採用部に所属し、4月・5月に実施された新入社員研修の見学、高等学校への訪問同行、進路ガイダンスへの参加など、さまざまな業務を体験した。その中で特に強く感じたのは、コミュニケーションにおいて、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を丁寧に聴くことで、初めて相手が真に求めていることを的確に捉えることができる。一方的に情報を伝えるだけでは、こちらの意図は十分に伝わらず、すれ違いが生じてしまう。目の前の相手の状況や感情を深く理解した上で、自分の考えを正確かつ分かりやすく表現し、対話を通じて相互理解を深めることの重要性を学んだ。

今回の題材においては、こうした実体験を基に、生徒が社会生活において求められるコミュニケーション能力の重要性に気付き、相互理解を深めながら、より良好な人間関係を築いていけるよう支援していきたい。

### 3 題材の目標及び児童（生徒）の実態

	目 標	生徒の実態
思考力、判断力、表現力等	・コミュニケーション能力をどうしたら向上することができるか、また、社会の一員として大切にしたいことを考えることができる	・他者の話を聞くことや自分が伝えたい情報をまとめて分かりやすく伝えることの苦手な生徒が多い。

### 4 評価規準

思考・判断・表現	・コミュニケーション能力をどうしたら向上することができるか、また、社会の一員として大切にしたいことを考えることができている。
----------	--

## II 本時の学習

- 1 **ねらい** お客と店員に分かれて行うロールプレイング「トークトレーニング」を通して、他者とよりよい人間関係を築き、目標達成に向けて積極的に行動するためのコミュニケーションを知り、人間関係形成・社会形成能力を向上させるための力を育む。

## 2 展 開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 研修先企業を知る。 (導入 10分)</p> <p>○株式会社ヤマダホールディングスについて知り、研修内容について理解する。 ★プレゼンテーションソフトを利用</p> <p>S：ヤマダデンキってよく知っている会社だ。 S：そんなに大きな会社だとは知らなかった。 S：先生でもコミュニケーションで困ることがあるのか。</p>	<p>◎研修先企業に興味をもてるように、全国の店舗数や売上等について問いかけながら説明を行う。 ○本時の学習につながるよう、コミュニケーションで困った話など、自身の体験を交えて生徒に伝える。</p>
<p>○本日の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本時の学習課題】(めあて) コミュニケーションの役割を知り、その大切さを学ぼう。</p> </div>	
<p>○教科書を読んで、本時の見通しをもつ。</p> <p>2 トークトレーニング①(店員とお客によるコミュニケーション) (展開 40分)</p> <p>★説明用画面の提示</p> <p>○ワークシートを受け取り、「トークトレーニング」の説明を聞く。 ○店員とお客の2人組になる。 ○お客は、購入したいペンがどういう物か、店員に伝える。 ○店員はお客から得た情報を基におすすめのペンを紹介する。 ○役割を交代して再度行う。 ○実施後、ペアごとに振り返りを行い、ワークシートに記入する。(良かった点、難しかった点など)</p>	<p>◎ロールプレイング「トークトレーニング」を行う。</p> <p>○「トークトレーニング」のためのタイマーを提示する。 ○「トークトレーニング」の内容とルールを説明(必要感、困り感含む)し、生徒がスムーズに取り組めるようにする。 ○お客の構成は生徒自身で考えるように伝える。 ○生徒に与える情報は必要最小限にする。</p> <p>○教室を巡回し、生徒の活動状況を確認して困っている生徒には適宜声かけやアドバイスを行う。 ○生徒が感じた点や気付いた点などを話し合うように伝える。</p>

<p>S：店員とお客に分かれるのはおもしろそうだ。  S：自分が提案した商品が売れて良かった。  S：欲しい商品を提案してもらえて嬉しかった。</p>	<p>○簡単にまとめられるようにワークシートを工夫する。</p>
<p><b>3 トークトレーニング②（お客カードによるコミュニケーション）実施・全体に発表（展開②35分）</b></p> <p>★説明用画面の提示  ○ペアごとにお客カードを受け取る。</p> <p>○店員とお客で「トークトレーニング」を行うため、カードのお客について各自個人端末で調べる。  例 社長、教員、アナウンサーなど、それぞれの仕事内容や性格などを調べる。</p> <p>○お客と店員において考えられるコミュニケーションをワークシートにまとめ、簡単な台本を作る。</p> <p>○トークトレーニング①と同じ組み合わせで「トークトレーニング」を行う。</p> <p>○役割を交代して再度トークトレーニングを行う。</p> <p>○実施後、ペアごとに振り返りを行い、ワークシートに記入する（良かった点、難しかった点など）。</p> <p>○グループ内で①と②どちらの「トークトレーニング」がよかったかについて話し合う。</p> <p>○話し合った内容をグループ代表者が全体に発表する。</p> <p>S：社長って周りからこんな風に見られているのか。  S：②の方が相手のことを考えてできた。  S：あのグループと同じ意見が出た。</p>	<p>○「トークトレーニング」のためのタイマーを提示する。</p> <p>○トークトレーニング①と違い、お客の立場や背景まで考えた上で、「トークトレーニング」の準備を行う。</p> <p>○簡単にお客についてまとめられるようにワークシートを工夫する。</p> <p>○簡単な例を生徒に伝え、考えやすくする。</p> <p>○振り返る際には、単なる感想だけでなく、①と②の具体的な行動の違いや言葉に焦点を当てて振り返るように伝える。</p> <p>○発表を聞く生徒が、自分の活動との共通点や相違点を考えられるように伝える。</p>
<p><b>4 コミュニケーション能力の必要性と今後の目標（終末15分）</b></p> <p>○株式会社ヤマダホールディングス社員の方から、コミュニケーション能力の必要性について、話を聞く。</p> <p>○本日の活動を通して、学んだことや今後の目標をワークシートに記入する。</p> <p>S：ワークシートをしっかりと完成させよう。  S：コミュニケーションは難しいけれど大切だ。  S：社会に出るのは不安もあるが楽しみだ。  S：もっといろいろな人とコミュニケーションを取りたい。</p>	<p>○「社会に出る上で、なぜこの能力が必要なのか」を改めて強調し、生徒の学習意欲を高める。</p> <p>○ワークシートに、本時の学びや今後の目標を具体的に記述するよう指示する。具体的とは、コミュニケーション能力をどのように向上させることができるか、また、社会の一員として大切にしたいことは何かまで考えるよう伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆評価項目  コミュニケーション能力をどうしたら向上することができるか、また、社会の一員として大切にしたいことを考えることができる&lt;ワークシート（思考・判断・表現）&gt;。</p> </div> <p>○「相手を理解すること（理解）→伝えたいことを分かりやすくまとめる（伝達）」これがコミュニケーション能力であるとまとめる。</p>

### 3 板書計画

#### トークトレーニングの流れ

